

第9回「正木町あじさい祭り&ウォーク」に参加しよう！

羽島用水路沿い「あじさい街道」の紫陽花が今年も見頃です！

日時：6月12日（日）午前9：00～（雨天決行）
 集合場所：正木地区公民館（羽島市正木町坂丸4丁目）
 問合せ先：羽島あじさい街道をつくる会
 代表 竹中昭美（TEL058-392-5363）



当日は、あじさい街道ウォーキングのほか、地元の皆さんによる踊りの披露などいろいろな催しがあります。イベントに参加できない方も、お近くをお通りの際はぜひ立ち寄りみてください！

教えて！のーりんQ&A

皆さまからの質問をお待ちしています！

Q1：お米を作るのにどれだけの（きれいな）水がいるのですか？

A1：お米を1トン生産するには、大型のダンプ100台分に相当する約1000トンの水が必要とされています。しかし、田んぼに送られてお米を作るに使われた水の約70%はまた川に、約20%は地下水に戻っていきます。水は常に循環して再利用されているわけですね。

Q2：日本人は1年間に何キロのお米を食べていますか？

A2：昭和35年には、国民1人当たり1年間で約115キロのお米（ごはん）を食べていましたが、平成14年には約63キロ程度と半分しか食べなくなりました。それに比べて肉類の消費は、昭和35年の5.2キロに対し、平成14年には5倍以上の28キロを食べています。栄養バランスとしては、昭和55年が理想的とされています。現代人の肥満の理由はここにもあるのでしょうかね。

「農地防災」とは、安全で安心な農産物を農地から安定して生産するために必要な農業用水・かんがい施設・排水施設等を守り、維持対策を行うとともに、

これらの施設・農地・水質などが原因で、国民の健康・生命・財産を脅かすことのないように、災害を未然に防止することです。

「新濃尾（しんのうび）」とは、事業地区名のごとく、以前にこの地域で実施した「濃尾用水地区」と区別するために、「新」を付けています。

編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局 refresh_noubi@tokai.nn-net.go.jp
紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

e-mailでもお待ちしております！

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所（しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ）
（〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851）

犬山支所（〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201）
羽島支所（〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127）

【ホームページアドレス】

☆新濃尾農地防災事業所：<http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/>
☆農林水産省：<http://www.maff.go.jp/> ☆東海農政局：<http://www.tokai.maff.go.jp/>

リフレッシュ濃尾用水

【編集発行】
農林水産省東海農政局
新濃尾農地防災事業所
2005年5月 第6号

Topics!

- ★平成16年度の工事が全て無事完了しました。工事実施へのご協力、有り難うございました。
- ★4月21日、宮田用水中央管理所に江南市立草井小学校の児童らが見学に訪れました。
- ★6月12日、羽島市正木町で、第9回「あじさい祭り&ウォーク」が開催されます！

草井小学校の児童らが宮田用水中央管理所で校外授業！

4月21日、江南市立草井小学校の4年生90人が、校外授業として宮田用水中央管理所の見学に訪れました。児童たちは学校を出発し宮田用水路沿いを歩きながら中央管理所へ元気に到着。この地域を流れる農業用水の歴史や当事業所が現在行っている頭首工や水路の補修工事の説明に真剣に耳を傾けていました。*頭首工（とうしゅこう）：次ページ参照

用水の管理に関するビデオや操作室にある大型パネルを見学した後、今度は屋外に出て、水路の中のゴミなどを拾い出す除塵機（じょじんき）を見学。はじめのうちは、何の機械なのか不思議そうに見ていましたが、機械が動き出して水路内の引っかかったゴミをかき上げ始めると、一斉に歓声があがりました。

みんな、おいしいお米や野菜をつくるために身近なところを流れている農業用水のことを忘れないでね！



濃尾平野を流れる農業用水の歴史や用水の管理などについて話を聞きました。



操作室の中にはいろいろな水路の水量を確認できる大きなパネルがありました。



水路を流れてくるゴミを拾い上げる機械（除塵機：じょじんき）を見学しました。

Q：コンクリートで用水がつくれるようになったのはいつから？

A：宮田用水のコンクリート水路は、農林水産省が昭和30年代につくったものだよ。

Q：中央管理所では一日何人の人が何時間ぐらい管理しているの？

A：中央管理所には6人の職員が働いていてお米を育てるためにたくさんの水を流す4～9月は交替しながら毎日24時間休みなしで管理しているんだよ。

児童たちからの質問紹介！

※農業用施設の見学に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい！

羽島ものがたり

江戸時代の田水入れ風景

水路の整備が進んでいなかった時代、田んぼへの水かけは農家にとって大変な苦勞があり、効率よく水をひくための道具も色々工夫されていました。



<ふるさと笠松誌より>



<犬山頭首工>



古くなったゲートを新品に交換

工事後



護床ブロックを置き水の流れをスムーズに

工事後

犬山頭首工は、木曾川を6回（平成12年度～18年度）に渡り締め切って、補修工事を実施する計画です。5月末に5回目の河川締切及び補修工事が無事完了しました。10月からはよいよ最後となる6回目の工事を実施します。

犬山だより



頭首工（とうしゅこう）とは、農業土木^{せき}の専門用語で、農業用水の取水堰のことを言います。河川から用水路へかんがい用水を引き込むために設ける堰上げの構造物で、取水堤・取入口等からなります。ダムと違い貯水機能はありません。

※「農業土木」という言葉は、水田農業を基軸に土や水を扱う土木技術・管理技術等を発展させてきた日本特有の言葉（分野）です。国際的にも適当な言葉はなく「nogyodoboku」と表現されています。

おいしいお米や野菜をつくるため、木曾川からきれいな水を送り続けています！

<羽島用水路>



工事前



工事後

分水工
パイプ

羽島用水路は、昨年度、約1.8キロに渡り改修工事を実施しました。平成12年に工事が始まり、これまでに約11.2キロが完成しています。今年度は、国道22号線の下を通り、大前田三号橋付近（笠松競馬場の北）までの工事を実施します。



有改修工事への協力、難うございました。

<大江排水路（大江川）>



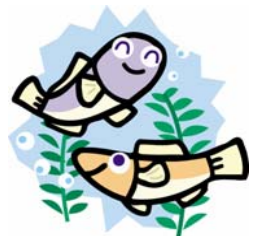
工事前



工事後

魚だまり

大江排水路（大江川）は、昨年度、約3.1キロ（白髭橋～天神橋）の改修工事を実施しました。これで大江川の終点から約8.2キロ上流までの改修を終えたこととなります。工事後の区間ではたくさんの魚たちが「魚だまり」で休憩しながら泳いでいます。



羽島だより

今年度の羽島用水路の工事区間は笠松競馬場の周辺を予定しています。水路のすぐ横には、競馬場と厩舎を結ぶ馬道があり、オグリキャップが14年前に見ていた馬道沿いの水路は1年後には姿をかえて登場します。

オグリキャップ・セレモニー（4月30日 笠松競馬場にて）



<左岸幹線水路>



工事前



工事後

左岸幹線水路は、昨年度、上流から約120mの区間について、改修工事を実施しました。長年の水の流れて劣化した壁や底面の補修を行い、水路の寿命をさらに40年以上確保しました。今年度も引き続き、下流側の工事を実施します。

大江川だより

大江川物語 番外編
赤染衛門を
ご存じですか？
男性のような名前ですが女性です。宮田用水（大江用水）を開削した尾張の国司大江匡衡の妻で都の文化を伝えた人です。平安中期の紫式部とも交友関係を持ち活躍した女流歌人であり一首五十九番の作者でもあります。
やすらはで
さ夜ふけて
月を見しかな
（つづく）
寝なましものを
かたぶくまでの

